

下関における子育てニーズの現状

——ふくふくこども館利用者調査から——

桑 畑 洋一郎

要 旨

下関市次世代育成支援拠点施設「ふくふくこども館」の利用者に対して行った質問紙調査を元に、下関における子育てニーズの現状を分析した。結果として、いくつかの改善点が示されながらもこども館への期待が大きいこと、とはいえ、子育て関連情報の充実や子どもの遊び場の整備が求められていることが明らかとなった。2015年2月にも同型の調査を行うことを予定しており、そのための調査基盤づくりにも資する結果が得られたと思われる。

キーワード：子育て支援 子育てニーズ 質問紙調査

1. はじめに

本論文は、下関市次世代育成支援拠点施設である「ふくふくこども館」の利用者に対して行った質問紙調査を元に、下関近郊で育児を行っている人々が、育児に関するいかなるニーズを持っているのかを把握することを目的とするものである。

松木洋人が示したように、子育て支援施策の拡充など育児の社会化が進む中で、その問題点と有効性を説く多くの言説が編成されている（松木 2013：10-3）。しかしやはり松木が指摘するように、育児の社会化という文脈において行われている「子育て支援に関わる当事者たちがその支援をどのように実践し、経験しているのかを社会調査に基づく具体例に即したかたちで明らかにすること」（松木 2013：15-6）もまた、ことに社会学においては重要となる。本論文もこれと同様の目的の元で、下関市が子育て支援のために設置した施設が、どのような支援を提供しているのか（していないのか）を、利用者の認識から照射することを目的とする⁽¹⁾。いうならば、支援者に対する調査を行った松木とは逆向きの形で、支援の実践を明らかにする試みである。

このことには次の意義があると思われる。第1に、下関市やその近郊で暮らし育児を行っている人々にとって、特に育児の面でより生活しやすい社会を作ることには寄与するという、実践的な意義である。本調査の分析結果と、本論文で考察した結果は、ふくふくこども館で支援を実践している人々にも示されることとなっており、育児をしている人々の認識が支援者に返されることで、支援の更なる充実を導くという再帰的なプロセスに基づいた状況改善につなげることが可能となる。第2に、育児を行っている人々のニーズを把握することで、現代社会において育児をする人々が直面している現状を探るといふ、家族社会学・福祉社会学的意義である。子育て支援の

ニーズに関する調査研究は重ねられているが（たとえば（勝浦・福岡 2003）（勝浦・福岡 2004）（勝浦・福岡 2008）（大津 2004）（武田 2007）（管田ほか 2009）（木脇 2012）など）、今も調査空白地域は残っている。

なお本論文では、2014年8月に実施した利用者調査にのみ基づいて論述を進めていくが、今後もふくふくこども館で同型の調査を反復して行うことを予定しており、本論文に続く研究では、調査結果の比較を通してニーズの変遷を確認することもできるだろう。本論文には、こうした、比較研究の基礎を築くといった部分での意義もある。

以上の目的に基づき、本論文では、以下の構成から調査結果の分析と考察を進めていく。続く第2章では、調査地であるふくふくこども館の概説を行う。第3章では、調査概要の説明を行った後、調査結果の分析を行う。第4章では結びとして、調査から得られた示唆を提示することとしたい。

2. ふくふくこども館

ふくふくこども館とは、2014年4月に開館した、下関市次世代育成支援拠点施設の通称である。下関市が、「次代を担う子どもたちを多世代で育み、もって子どもの健全な育成と子育てをしている家庭の支援を図る」（下関市次世代育成支援拠点施設の設置等に関する条例第1条）ことを目的としている。同施設で実施される事業としては、具体的には以下のように定められている。

- (1) 親子が気軽に集い、相互に交流する場の提供
 - (2) 親子で遊び、学ぶ場の提供
 - (3) 子育てに関する相談及び支援
 - (4) 子育てに関する講座、研修会等の実施
 - (5) 子育てに関する活動を行う団体等との連携及び調整
 - (6) 子育てに関する情報の収集及び提供
 - (7) 子どもの一時預かり
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、支援施設の設置の目的を達成するために必要な事業
- （下関市次世代育成支援拠点施設の設置等に関する条例第4条）

施設内部は、プレイランド、こども一時預かり室、交流スペース・クリエイティブランド、多目的室、相談室、授乳室、屋上広場で構成されており、近隣の施設を利用する親子連れがプレイランドを利用したり、中高生が交流スペースで自習を行ったりする姿が見られる。上記の内多目的施設は410円から1230円の利用料が必要で、こども一時預かり室は720円から820円の利用料が必要となる⁽²⁾。

同施設の運営は、下関から委託を受けた下関市社会福祉事業団、株式会社丹青社、NPO法人

下関子ども・子育てネットの三者によって行われている。

3. ふくふくこども館における調査

(1) 調査の概要

今回の調査は、2014年8月1日（月）から2014年8月11日（金）の間に同施設を利用した利用者（保護者）に対して配布される形で行われた。回答は自記式である。500通の配布に対して215通の有効票が回収された（有効回収率43.0%）。同一の利用者が複数回答することがないように配慮をおこなったが、サンプリングは行われていないため、下関市の保護者のニーズや、ふくふくこども館利用者のニーズの全体像を直接に推計することはできない調査となっている。とは言えしかし、ふくふくこども館を利用した人々の内にどのようなニーズが存在するのかといったことの把握には有意義な調査であったと考えている。なお、調査票は付録として論文末尾に添付する。

(2) 調査結果

以下からは、調査から得られた結果について分析を交えながら記述していく。なお、全ての設問についての記述はせず⁽³⁾、主要な項目のみについて記述を行うこととしたい。

①基礎項目

まずは、基礎的な項目の記述を行う。

回答時に同行していた子どもから見た調査対象者の続柄は、母親79.5%、父親8.4%、祖父母11.6%、その他0.5%であった。子どもと外出し、こども館を利用するのは母親が圧倒的に多い。

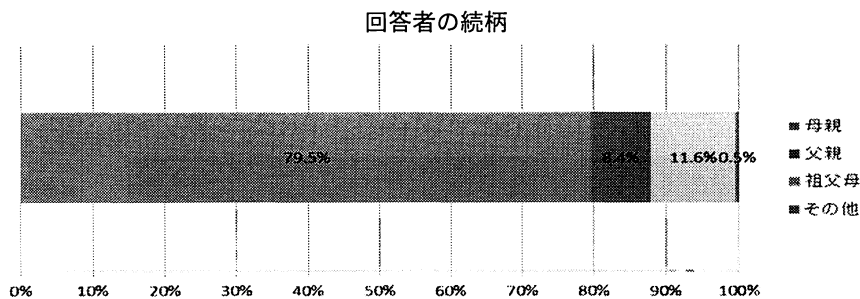


図1：回答者の続柄（N=215）

回答者の年齢は、「～19歳」は0.0%、「20歳～29歳」は8.8%、「30歳～39歳」は63.7%、「40歳～49歳」が14.9%、「50歳～59歳」が3.7%、「60歳～」が8.8%であった。

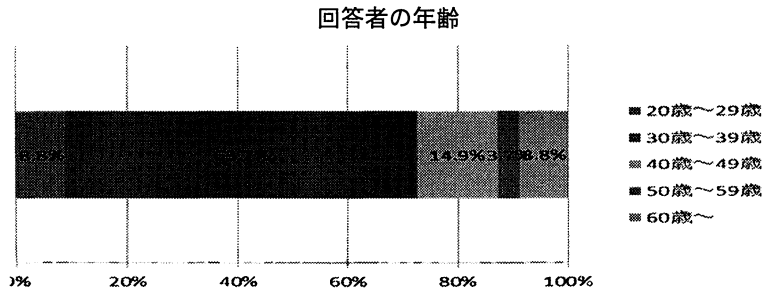


図2：回答者の年齢 (N=215)

ちなみに、下関市全体で見た場合の出産年齢統計（2012年のデータ）は以下のようになっている。

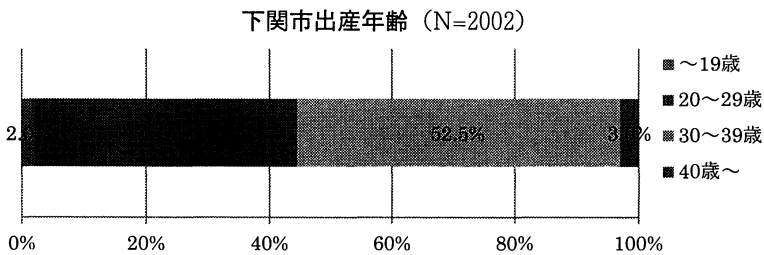


図3：下関市における出産年齢（（下関市 2014）を元に筆者が作成）

今回の調査における子どもの年齢が平均3.22歳⁽⁴⁾であることを考えて、それをふまえて今回調査の回答者の年齢と下関市の出産年齢を比較すると、年齢面ではほぼ下関で乳幼児の子育てを行っている保護者の年齢層と重なるのではないかと推察される。

回答者の居住地は、下関市内が68.6%、下関市外が11.6%、県外が19.8%であった。駅と併設されていることもあり、市外・県外からの利用者が3割程度いる。

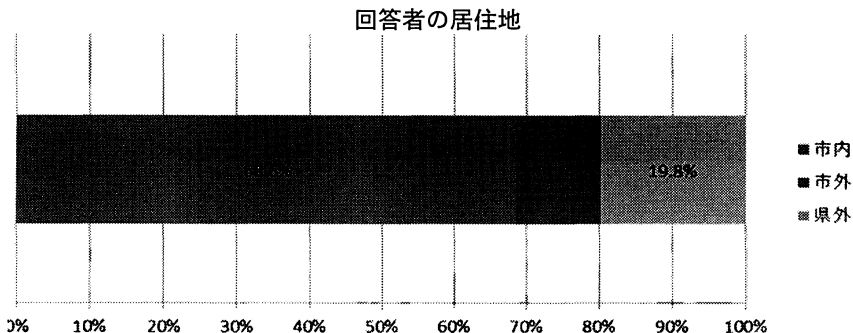


図4：回答者の居住地 (N=207)

基礎項目の最後に、回答者の就労状況を見てみたい。就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で働いている」15.7%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている」12.3%、「産休・育休・介護休業中である」4.4%、「以前は就労していたが、現在は就労

していない」65.7%、「これまで就労したことがない」2.0%であった。今回の調査期間は平日が多く含まれていたためか、就労していない回答者が多く見られた。

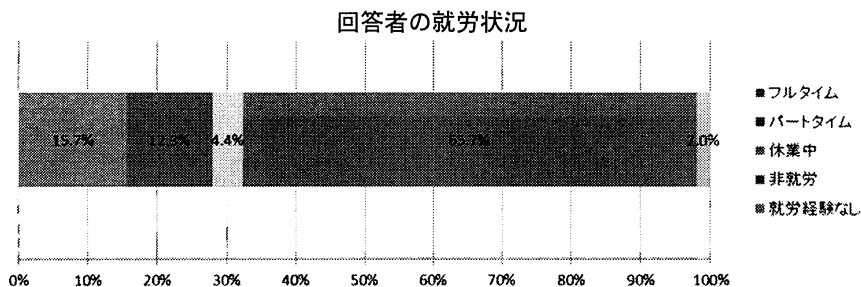


図5：回答者の就労状況 (N=204)

②ふくふく子ども館の利用について

続いて、同施設の利用に関する調査の結果を記述していきたい。

同施設のことを知った経緯は、クチコミと近隣施設での掲示がともに4割程度であった。

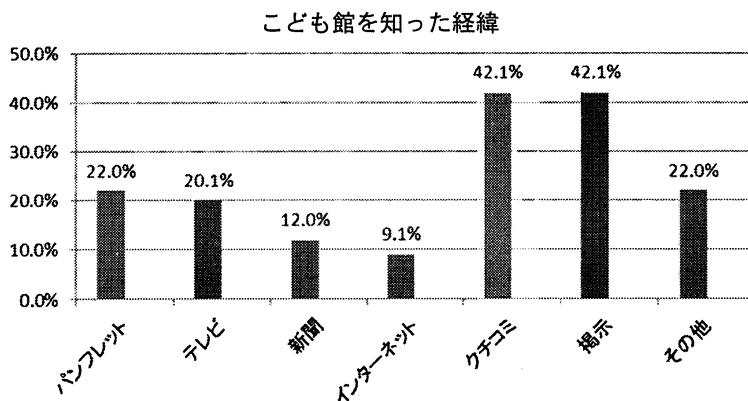


図6：子ども館を知った経緯 (N=209、複数回答)

また、同施設の利用回数を見てみると、初めて利用した回答者が4割、リピーターが合計で約6割と、開館後4ヶ月の段階で継続利用者がある程度獲得できていることが分かる。

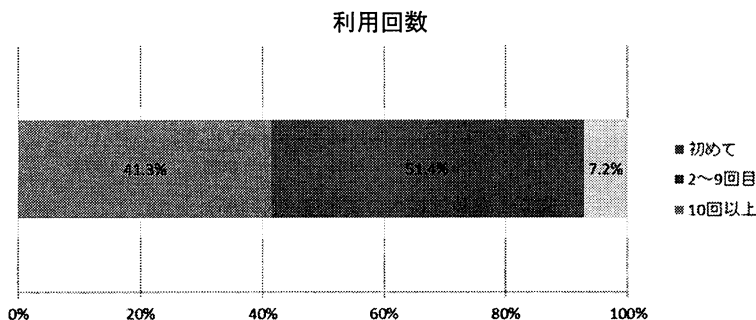


図7：子ども館利用回数 (N=208)

同施設利用に対する満足度を見てみると、「とても良かった」と「まあ良かった」が合計で9割超と、高い満足を提供できていることがうかがえる。

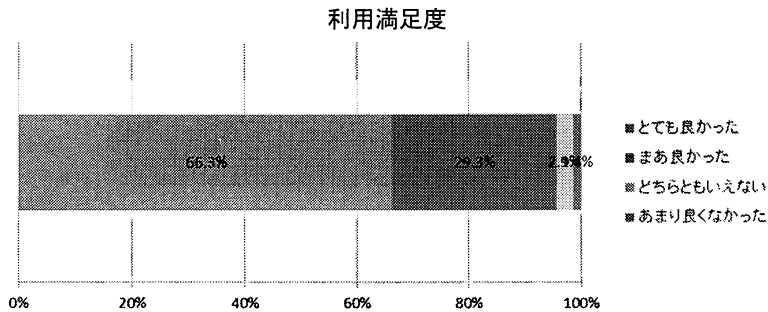


図8：利用満足度 (N=208)

ただし、完全に満足しているわけではなく、改善を求められているところもある。問9の「その他」で書かれたのを見てみると、駐車場の割引や無料化などを求める声が40件近くと顕著に見られた。また、開館時間や休館日に関する要望（ともに現行よりも長くしてほしいとの要望）もある。さらに、小学校低学年までに利用可能年齢を拡大してほしいとの声もある。これらの要望は、施設の運営や施設内で提供されているサービスそのものの改善を求めているものではなく、施設をさらに利用したいとの思いから出されているものであろう。近隣施設や市との折衝が必要となる要望ではあるが、改善の道を探ることが肝要かもしれない。

③居住環境への意識

居住地域への満足度を5段階（「1 満足度が低い」～「5 満足度が高い」）で尋ねたところ、全体の平均は2.93で、満足度は中よりも高いことが分かった。

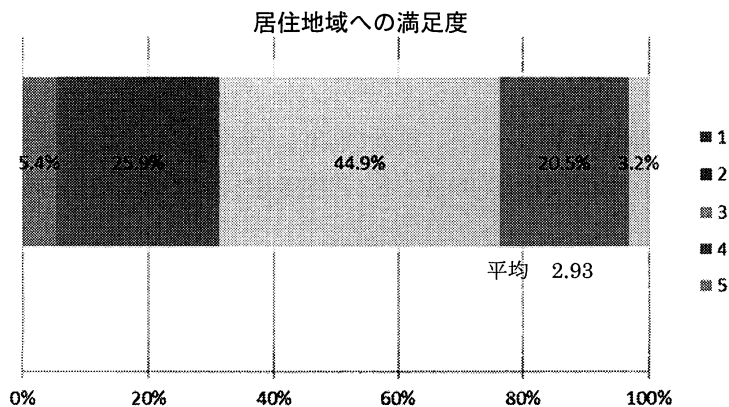


図9：居住地域への満足度 (N=185)

ただしこれは、下関市内に居住している回答者と下関市外に居住している回答者とが混在した結果である。そこで、市内居住者と市外居住者（下関市外の居住者と県外の居住者を合計）の平均値を比較してみると、以下のような結果となった。

表1：下関市内居住者と市外居住者の満足度平均の比較

	下関市内	下関市外	差	等分散性の検定		t検定(Welchの方法)	
n	125	59		統計量:F	1.0295	統計量:t	0.2139
平均	2.912	2.881	0.031	自由度1	124	自由度	112.3304
不偏分散	0.807	0.831		自由度2	58	両側P値	0.8310
標準偏差	0.898	0.911	0.013	P値	0.8758	片側P値	0.4155

つまりは、市内居住者も市外居住者もそれぞれの居住する地域への満足度に有意な差はないということである。

続けて、より具体的に、子育てをしていく上で必要としている情報がどのようなものなのかを確認してみたい。

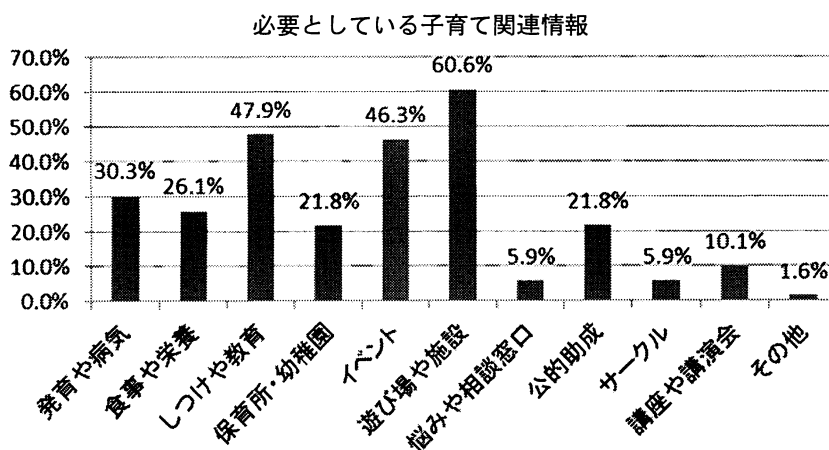


図10：必要としている情報 (N=188、複数回答)

こども館利用者への調査であることもあり、「遊び場や施設」についての情報を必要としている保護者が多い。裏返せば、これらの情報が入手しづらい状況にあることがうかがえる。先に見たように、ふくふくこども館は、「親子が気軽に集い、相互に交流する場」や「親子で遊び、学ぶ場」の提供、あるいは「子育てに関する情報」の提供も事業に含む。ふくふくこども館も含めて、情報窓口をさらに整備することや、あるいはサービスの提供そのものを行う場と機会を増やしていくことが求められていると言えよう。

最後に、さらに直接的に、子育てをしていく上での悩みについて尋ねた。結果は以下の通りである。

子どもとの外出時困ること

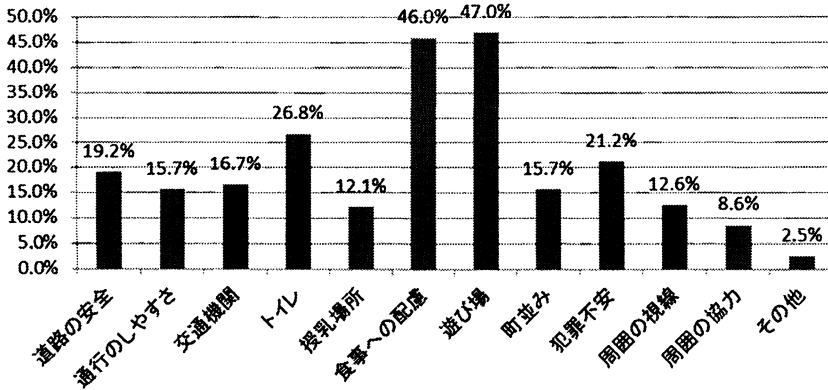


図11：子どもとの外出時困ること (N=198、3つまで回答)

先の結果と同様に、遊び場が困ることとして最も多くなっている。また、食事への配慮がなされていないこととそのため保護者が困難を抱えていることもうかがえる。また、下関市内居住者と市外居住者とでどのような違いがあるのか比較してみたところ、以下のような結果が得られた。一見したところ、下関市内居住者の方が困っていることが多いように見られる。ただし、市外居住者が回答する際に、「下関市内で子どもと外出する際に」との文言を自ら補って回答した可能性——すなわち、あまり馴染みがない下関市内のことを回答せねばならないと理解したため、結果的に市外居住者の困り感が小さく出た可能性——もあるので、一概に市外と比べて市内の状況が良くないとは言えない。

居住地域別子供の外出時困ること

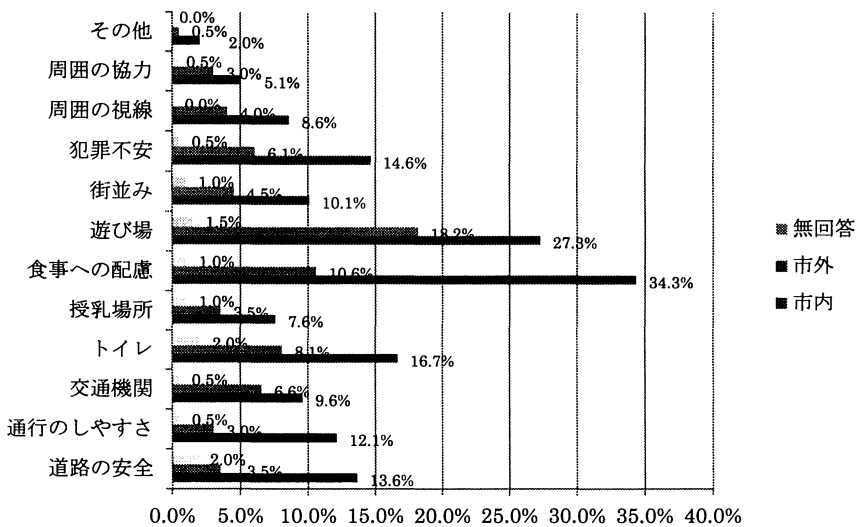


図12：居住地域別困っていること (N=198、3つまで回答)

4. おわりに

以上に見てきたように、ふくふくこども館に一定期間訪れた者のみを対象としている点でサンプリング上の大きな制約がある調査であるとは言え、いくつかの示唆的な結果が得られたと言える。本調査の結果は、今後反復される調査との比較を通してさらに確固たる結果を得るための基盤となる。また、より実践的な面でも、ふくふくこども館の今後の運営をさらに良いものとしていくために——ひいては下関をより子育てのしやすい地域とするためにも——活用可能なものであろう。冒頭で述べたように、本論文は、福祉社会学的な意義に加えて、実践的な意義を持つものであり、実践的な部分につなげていくことが、本論文の結果を最大限に活用することであろう。

付記

この調査は、梅光学院大学の研究助成を受け、ふくふくこども館との共催で行ったものである。記して感謝したい。なお、分析と考察の責は筆者に帰すものである。

注

- (1) なお、この主題に基づくものとして、萩原久美子の卓越した研究を挙げたい(萩原 2006)。萩原は、育児中の保護者の声を丁寧に聞きながら、保護者が抱えた困難とそれを解決しきれない(あるいはその原因となってしまう)両立支援政策の実態を明らかにした。
- (2) いずれも、利用する曜日と部屋の範囲で異なる。
- (3) なお、全ての項目を網羅した——加えて、2月に実施予定の第2回調査との比較も盛り込んだ——調査報告書を年度末に公刊する予定である。
- (4) 6歳以上を「6歳」として計算した。そのため、実際はもう少し子どもの年齢は高くなると思われる。

文献

- 萩原久美子, 2006, 『瞑想する両立支援——いま、子どもをもって働くということ』 太郎次郎社エディタス.
- 管田貴子・増田貴人・伴碧, 2009, 「青森県における子育て支援の実態と保護者のニーズに関する調査(1)——保護者へのインタビューから」『弘前大学教育学部紀要』102: 67-74.
- 勝浦範子・福岡欣治, 2003, 「子育て支援施設に対する市民ニーズの反映——『浜松こども館』に関する実践的研究」『静岡文化芸術大学研究紀要』4: 1-6.
- , 2004, 「『浜松こども館子育て支援アンケート 2003』の報告——子育て支援ニーズに関する実践的研究」『静岡文化芸術大学研究紀要』5: 21-9.
- , 2008, 「市街地における子育て支援施設の役割と限界——浜松こども館の利用者特性から」『静岡文化芸術大学研究紀要』9: 65-72.
- 木脇奈智子, 2012, 「多様化する「子育て支援」の現状と課題——新たなニーズとそれに対応する事例から」『藤女子大学 QOL 研究所紀要』7 (1) : 37-43.

松木洋人, 2013, 『子育て支援の社会学——社会化のジレンマと家族の変容』新泉社.

大津泰子, 2004, 「中間市における未就学児童に関する子育て支援——子育て支援ニーズ等に関するアンケート調査から」『近畿大学九州短期大学研究紀要』34:, 85-113.

下関市, 2014, 『統計しものせき』(<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1364369990076/html/common/other/533a5c16018.xls>, 2014年1月28日取得).

武田真由美, 2007, 「A県における在日外国人の子育てニーズに関する探索的研究——在日外国人保護者、行政担当者、支援者へのインタビュー調査から」『関西学院大学社会学部紀要』103: 115-27.

付録：調査票

ふくふくこども館満足度調査

【調査ご協力をお願い】

日頃よりふくふくこども館をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、今後本館をさらに利用しやすいものとするために、また、下関市をさらに子育てのしやすい地域とするために、本館への満足度や、子育てに関する意識や実態などを教えていただきたく、この調査のご協力をお願いしております。回答していただいた内容は、皆様の個人情報が特定されないよう、すべて統計的な処理を行います。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

ふくふくこども館スタッフ一同

- 1 アンケートは、保護者の方が記入してください。
- 2 回答は○を付けるか数字を記入してください。選択肢の回答が「その他」で（ ）がある場合は（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 3 記入が済みましたら、お手数ですが、本館スタッフにお渡しいただくか、館内に設置しておりますポストに投函してください。
- 4 不明な点、調査に関するお問い合わせは、本館スタッフまでお願いいたします。

ご回答いただく方の状況についてお尋ねします。

問1 ご回答いただいている方はどなたですか。本日ご来館されたお子さんから見た関係でお答えください（○は1つ）。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）

問2 ご回答いただいている方の年齢を教えてください（○は1つ）。

1. ～19歳 2. 20歳～29歳 3. 30歳～39歳
4. 40歳～49歳 5. 50歳～59歳 6. 60歳～

問3 お子様（お孫様）の年齢・人数を教えてください

1. 0歳 2. 1歳 3. 2歳 4. 3歳
5. 4歳 6. 5歳 7. 6歳以上 人

問4 どちらの地域にお住まいですか。

1. 下関市内（ ）
2. 下関市外（ ）
3. 県外（ ）

問5 ご回答いただいている方の現在の就労状況をお答えください（○は1つ）。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で働いている
2. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている
3. 産休・育休・介護休業中である
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまで就労したことがない

その他についてお尋ねします。

問6 本館のことは何でご存知になりましたか（○はあてはまるものすべて）。

1. パンフレット
2. テレビ
3. 新聞
4. インターネット
5. クチコミ
6. 駅やシーモールなどでの掲示
7. その他（ ）

問7 本館のご利用は今回で何回目ですか（○は1つ）。

1. 初めて
2. 2回目～9回目
3. 10回以上

問8 今回本館を利用してどのように感じられましたか（○は1つ）。

1. とても良かった
2. まあ良かった
3. どちらともいえない
4. あまり良くなかった
5. まったく良くなかった

問9 本館に改善してほしい点がありましたら教えてください（○はあてはまるものすべて）。

1. スタッフの対応
2. 営業時間
3. 設備の充実
4. 利用料
5. 交通アクセス
6. イベント内容
7. その他（ ）
8. 改善してほしい点は特にない

問10 館への具体的なご要望がありましたら自由にお書きください。

子育て全般の状況についてお尋ねします。

問11 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか（○は1つ）。

1. いる/ある ⇒ 問11-1へ 2. いない/ない ⇒ 問12へ

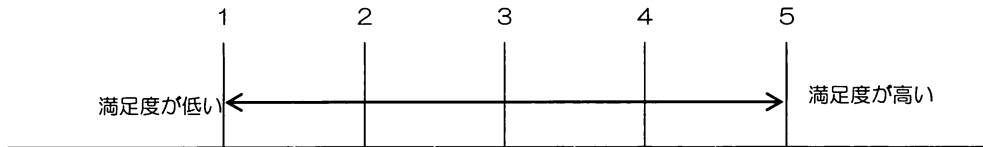
問11-1 問11で1に○をつけた方に お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか（○はあてはまるものすべて）。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 祖父母等の親族 |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 保育所・幼稚園の保護者仲間 | 6. 子育てサークルの仲間 |
| 7. 保育所・幼稚園の先生 | 8. 子育て支援センター |
| 9. 保健師、栄養士 | 12. 医師、看護師 |
| 11. 家庭児童相談員 | 13. 民生委員・児童委員 |
| 13. インターネット | 14. その他 () |

問 12 子育てに関して不安感や負担感などを感じていますか (○は1つ)。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 不安や負担をかなり感じる | 2. 不安や負担を多少は感じる |
| 3. どちらともいえない | |
| 4. 不安や負担をあまり感じない | 5. 不安や負担をほとんど感じない |

問 13 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか (○は1つ)。



問 14 あなたは、いま、子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか (○はあてはまるものすべて)。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 子どもの発育や病気について | 2. 子どもの食事や栄養について |
| 3. 子どものしつけや教育について | 4. 保育所や幼稚園について |
| 5. 子連れで参加できるイベントについて | 6. 子どもの遊び場や施設について |
| 7. 子育ての悩みや相談窓口について | 8. 子育ての公的助成について |
| 9. 子育てサークルについて | 10. 子育ての講座や講演会などについて |
| 11. その他 () | |

問 15 子育てに関する情報をどこから入手していますか (○はあてはまるものすべて)。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 親族(親、兄弟、姉妹など) | 2. 隣近所の人、知人、友人 |
| 3. 子育ての仲間 | 4. 保育所、幼稚園、学校 |
| 5. 市の広報やパンフレット | 6. 子育て支援センター・ふくふくこども館 |
| 7. 新聞、テレビ、ラジオ | 8. 子育て雑誌・育児書 |
| 9. 地域の子育て情報誌 | 10. インターネット・電子メール |
| 11. 情報の入手手段がわからない | 13. その他 () |

問 16 お子さんと外出する際、困ることは何ですか。主なものを3つまで選んでください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
7. 買い物や用事の合間に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8. 緑や広い歩道が少ないなど、町並みにゆとりとうるおいがないこと
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること
11. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他（）

問 17 下関市の子育て環境や支援に関してご意見等ありましたら、自由に記入してください。